

議会のひろば

特集

令和2年度
決算審査

P.8

コロナ禍の影響は...

岡谷の市民力

発見!! お持ち帰りグルメ市 P.16

★コロナ禍でも「まちを元気に」と、市民活動を発見!!



議会のひろば 第25号

発行日:2021年(令和3年)10月25日発行 発行:岡谷市議会 編集:議会広報広聴委員会
〒394-8510 長野県岡谷市幸町8-1 ☎ 0266-23-4811 議会事務局 内線:1711) URL <http://www.city.okaya.lg.jp/site/gikai/>

再生紙・植物油墨を使用しています
印刷:ツルモ印刷株式会社

岡谷の市民力

「岡谷のうまいものが大集合」

発見!! お持ち帰りグルメ市



9月19日(日)、コロナ禍により来店客数の減少や営業時短要請などで売上額が減少している飲食店を応援しようと、お弁当・お惣菜等を販売したもので2回目の開催でした。主催者側のNPO法人維新塾、参加者を取材しました。
※新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら取材しています。



◆イベントの提案者、NPO法人維新塾太田理事にお話を聞きました。

今回は二回目でしたが、終わってホッとしています。前回よりイベント協力店さんも増え、いろいろ心配もありましたので、正直緊張しておりました。このイベントは、地元の飲食店さんの応援もできますし、毎日ご飯を作り続けているお母さんたちの応援になっていると思うんですよ。

このイベントを通して、お店の人も購入して下さるお客様、みんなが前向きになればいいなと思っています。次回もぜひ、頑張って開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(主催者側)
カルフル
太田 裕佳様
(おた ゆか)



富山さん
ファミリー

Q イベントを
どこで知りましたか?

A. フェイスブック

Q 参加しようと思った
きっかけは?

A. 家族みんな、それぞれ食べたいもの、好きなものを選べるから楽しい。今は外食に行きたくても行けないし、地元のお店の応援もできるからよい企画だと思います。一つの場所で色々なお店のものが選べるのがよい。

山岸さん
ファミリー



Q イベントをどこで知りましたか?

A. SNS

Q 参加しようと思ったきっかけは?

A. お母さんが仕事で留守にしているので、お父さんといっしょにお昼ご飯を買いに来ました。お目当てのちらし寿司が終わっちゃったけど、牛丼を買うことができてよかったです。

Q 購入してみようですか?

A. 今の時期、飲食店に出かけることもなくなり、楽しみもなくなってしまったので、このイベントは楽しみです。待つのは大変だったけど、やっと買えたからよかった。家族みんなで楽しめるからよかったです。また、次も参加したいと思います。

上原かをる
さん



Q イベントを
どこで知りましたか?

A. チラシ(折り込み広告)

Q このようなイベントは
どうですか?

A. 大賛成! とっても良い企画だと思う。地元の飲食店の応援することにもなるし、作りたてのものも食べられるからうれしい。あと、市内の今まで知らない飲食店さんのことも知ることができるから。長い列で並んでいるので、お目当てのキッシュが買えるといいなあ。

ご意見・ご要望

市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けしていますので下記までお寄せください。

連絡先

岡谷市議会事務局
TEL.23-4811(内線1711)
FAX.22-6213

メール

gikai@city.okaya.lg.jp



～私たちが編集しています～



● 委員長: 今井 康善
● 副委員長: 武井 友則
● 委員: 吉田 浩
田村みどり・中島 保明
今井 秀実・山崎 仁

議会広報広聴委員会

令和3年第4回定例会

(決算議会)

令和3年9月6日から10月4日までの29日間の会期が開かれ、人事案件1件、一般議案9件、議員提案3件、決算議案11件、合計24件が審査されました。令和2年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算は、決算特別委員会に付託されましたので審査経過をお知らせいたします。

決算特別委員会

〔一般会計・特別会計〕

◆一般会計歳入歳出決算認定

問 まち・ひと・しごと創生推進事業について

答 「インスタグラムフォトコンテスト事業」では、多くの応募があり、入賞作品は、市のプロモーション活動に活用し、効果的に本市の魅力を発表した。

また、「おかやの魅力体験事業」と「若者おかや暮らし応援事業」では本市への移住、転入があった。

問 福祉タクシーの月別利用状況と待機状況について

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉タクシーの利用者が例年より大幅に減少し、利用者の入院、施設入所、介護などの輸送サービスの充実や自家用車の利用など、タクシーの利用対象者を取り巻く事情の変化も減少の一因と考える。本市の特徴である施策であるため、利便性の向上、制度の維持に努める。

問 「おかやでスタート」結婚新生活支援事業について

◆国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算認定

問 新型コロナウイルス感染症対策としての国民健康保険税の減免について

答 新型コロナウイルス感染症対策としての減免の範囲は、令和元年度及び令和2年度の国民健康保険税のうち令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間に納期限が設定されているもので、申請は39件あり、そのうち33件の減免を決定した。

◆討論〔反対意見〕

国保の都道府県化以降、毎年保険料が引き上げられ、令和2年の国保においても、引き上げが行われた。国保加入者は、国保税によって生活をさらに厳しいものとされ、岡谷市民の健康と命を守っていくための、一般会計からの法定外の繰入が実施されていない。よって決算認定には反対する。

◆討論〔賛成意見〕

新型コロナウイルス感染症の影響のある中で、実質収支額、単年度収支額も黒字となった。激変緩和措置も適用されており、急激な保険料の上昇への対応や5割・7割軽減等、被保険者の費用負担が軽減される内容も含まれ、一定の配慮がされている。持続可能な事業制度として円滑に運営されることを願い、本決算認定に賛成する。

答 反響が大きく、補正予算を組んで対応した。若者の結婚支援策として、一定の成果を感じる。結婚により市外から11名の転入もあり、移住定住の促進につながったと評価している。

問 ものづくり基盤技術強化事業について

答 コロナ禍において、売上が減少している市内製造業等を対象に、事業の継続と雇用の維持を図るため、「生産性向上・新技術開発等チャレンジ企業奨励金」を創設したところ、97社の申請があった。総額7300万円を奨励金として交付したことにより、生産性向上に向けた環境整備や、新たな研究開発が進められた。

今井上向配水池を視察



◆水道事業会計決算認定

問 水道事業の経営状況は？

答 全体で、純利益3億4519万80円を確保することができた。収益は、営業活動で利益を上げ、補填財源として貯えた財源を使って施設の更新等を行ったため、収支のバランスがとれた健全経営ができた。

問 改良工事について

答 今井上向配水池築造工事は、耐震性のない配水池を更新する工事で、令和2年度末の築造工事の進捗率は60%である。材質はステンレス製で、耐震性と耐久性に非常に優れており、メンテナンスフリーで、耐用年数も長いことから、維持管理費も軽減される。

意見 水需要が低迷している中、収納率向上等の取り組みにより純利益となっており、高く評価する。

◆下水道事業会計決算認定

問 経営状況について

答 下水道事業収益において下水道使用料がコロナ禍における在宅時間の増加などに伴う汚水量の増加により、前年から増えたことなどにより、収益が前年から約2億368万円の大幅な増となり、さらに各種企業努力などにより純利益4億4602万1156円を計上できた。

問 臨時休校による影響。新型コロナウイルス感染症対策における小学校の臨時休校対応について

答 臨時休校中は、働く家庭を支援するため学童クラブを臨時開設し、家庭学習の支援のため、市内小中学生に図書カードを配布した。

学校再開に向け、分散登校時の給食費の公費負担を行い、学校再開後は、感染症防止対策の徹底や、学びを保障するために必要な経費について、国の補助金等を活用し学校配当予算を追加した。

臨時休校期間中の学童クラブ運営は、教職員にも協力をいただきながら行い、調理員についても、給食が止まっていた間は、校内の消毒作業、調理室や学校周辺の作業業務に従事していただき、学校全体でサポートできるように対応してきた。

問 歳入の特徴について

答 新型コロナウイルス感染症の影響は、主なものとして、法人市民税が当初予算に対し約7千万円の減。使用料も公共施設の閉鎖等による影響により前年度に比べ、約4800万円の減となっているが、感染症対策として、国からの特別定額給付金事業費国庫補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、国庫支出金が前年度に比べ、約59億1500万円、307.2%と大幅増となっている。

◆討論〔反対意見〕

◆病院事業会計決算認定

問 病院事業の総括について



答 新型コロナウイルス感染症による患者減少の影響を一年間通じて受け続け、経営的には非常に厳しい年であった。また、運営面においても通常診療に加え各種コロナ対策等を行うことにより、職員の心身の負担は非常に大きなものであったが、新型コロナウイルス感染症への対応を最重要課題と位置づけ、第二種感染症指定医療機関として、地域の拠点的な役割を果たすという、強い気持ちを持ち病院全職員が一丸となって病院運営に取り組んだ。その結果、診療控えによる患者減少などにより医療収益が大幅に減少する一方、補助金等の収入や経費の縮減を図ることにより、経常収支、総収支ともに黒字決算を計上できた。

問 診療体制について

答 令和2年4月より新たに常勤の産婦人科医1名が着任となり、医師2人体制となったことで、産婦人科では手術件数45件、外来延患者数は前年度比12人増の4589人となり、診療の充実が図られた。引き続き医師確保に努めたい。

新型コロナウイルス感染症の感染防止・生活支援を含む経済対策などの実施、各種イベントの中止、市内の小中学校を臨時休校など、今までに経験をしたことのない1年間であった。

数年にわたる非正規職員化の進行、自衛官募集のための個人情報提供、マイナンバー普及のために多額の予算執行が行われており、さらに、国民健康保険事業特別会計への法定外の繰り出しによる負担軽減が図られていない。

産業振興の分野も、小規模零細企業に対する支援は弱く、道水路維持補修工事に関わる費用の大規模な対応も必要であったと考えることから、本決算認定には反対する。

◆討論〔賛成意見〕

新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入全体が落ち込む中、国、県補助制度の活用により、特定財源の確保に努め、基金の取り崩しも最低限としたうえで、徹底した感染防止対策を講じ、進められるべき事業を力強く進め柔軟に対応されたことは評価すべき点である。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響による経済や社会活動への影響も懸念される中で、目指す将来都市像の実現に向け、多様な市民ニーズに的確に対応いただき、ポストコロナ社会を見据えた安全で希望と活力あるまちづくりをさらに推進していただくことを要望し、本決算認定に賛成する。

問 患者サービスについて

答 患者からいただいたご意見は、医療総合相談室にて内容の確認、関係部署間との情報共有をして、院内における方針決定後、院内の医療安全委員会及び全所属長が参加する運営委員会等において事例を報告し、職員間の情報共有をして再発の防止を図っている。

意見 全国的な新型コロナウイルス感染症の流行の中で、第二種感染症指定医療機関として、流行の初期の段階から、感染症の入院患者を受け入れて治療に当たるとともに、PCR検査等、地域の感染症医療全般において拠点的な役割を果たしてきた。病院事業管理者を先頭に、医師、看護師、職員の方々の献身的な働きで、院内感染やクラスター等を起こすことなく、多くの感染症患者の治療にあたられたことに心より感謝と敬意を表する。

新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減により入院・外来収益が減るなかで、国、県との協議を重ねて補助金を確保し、経費縮減に努めた結果、純利益約592万円を計上し高く評価したい。

引き続き、医師確保や近隣の医療機関との連携の強化、患者目線に立った病院運営と、地域に愛される病院を目指した取り組みをお願いし、本議案に賛成する。

委員長報告全文は市議会HPに掲載しています



一般・特別会計 企業会計

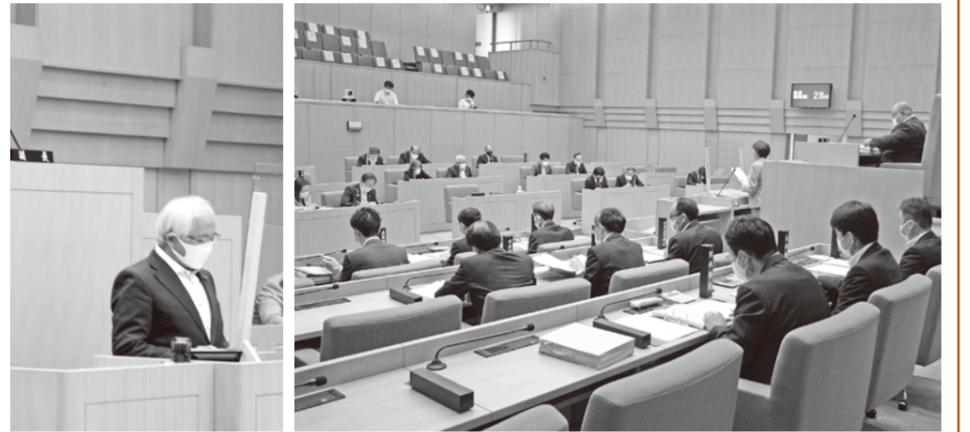
ズバリ! 市政を問う!

令和3年
第4回定例会(9月)
議場の再現
ダイジェスト版

一般質問

- 一般質問とは…議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。
- 一般質問の順番は、“くじ”で決めています。

▶ 岡谷市公式チャンネル ★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてください。



目次

- パート1
1. 今井 秀実…4ページ
 2. 武井 友則…5ページ
 3. 笠原征三郎…5ページ
 4. 浜 幸平…6ページ
 5. 吉田 浩…6ページ
 6. 今井 義信…7ページ
 7. 遠藤 真弓…7ページ
- パート2
8. 早出すみ子…10ページ
 9. 中島 保明…10ページ
 10. 中島 秀明…11ページ
 11. 渡辺 太郎…11ページ

※掲載は質問順です。
※掲載内容は質問者の文責によるものです。

問▼避難所での環境改善の課題は?
答▼段ボールベッドを一部整備していきたい

今井 秀実

前線による大雨による災害

問「高齢者等避難」「避難指示」発令のタイミングについての検証は?

答 避難指示の発令の検証については、当時の防災気象情報、累計雨量、降雨予測、土壌雨量指数、県と気象庁による土砂災害警戒情報、各地区や市民からの情報、職員によるパトロールなどから得た情報を整理し、気象に関する専門機関や国、県の防災・減災に関する機関、地質や防災に関する学識経験者などの意見・アドバイスを受けながら進めていく。

問 深夜に避難指示を発令することのむずかしさについてどのように考えているか?

答 深夜に避難指示を発令したことにより命を失った事例もあり非常にむずかしい問題であると考えている。

問 防災ガイドの土石流の警戒区域を黄色で示しているが、分りにくい。簡易な印刷物を作成するなどの対応が必要ではないか?



避難所となった西部中学校体育館

感染症対策

新型コロナウイルス

問 デルタ株の特性などを考慮すれば、子どもや若者に対するPCR等検査の実施は不可欠の課題となってきた。実施していくべきと考えるか?

答 国では、中学校、小学校、幼稚園へ抗原簡易キットの配布や活用を順次進めている。長野県でも、学校の部活動に係る検査を実施するとともに妊婦の分娩前検査の実施も検討している。

問▼高齢者の窓口負担の軽減を本気で考える
答▼全世代対応型の中だと認識

笠原 征三郎

高齢者医療費の負担金軽減

問 少子高齢化社会の問題点は?

答 医療制度の持続可能性を低下させ、現役世代の負担増、高齢者に対しての年金支給額の減少などに大きな影響を及ぼす。

問 「国民皆保険制度を維持する」とはどのような意味か?

答 医療費全体の約4割を占める75歳以上の医療費の増加が著しい。このままでは国民皆保険制度を維持していく事は困難。よって国では「全世代型社会保障改革」を進めている。

問 高齢者の受診控えが起きていると思うか?

答 一般的に受診や通院を控えることは持病の悪化や症状の重篤化、健康上のリスクが高まる。



各種選挙の投票率向上

問 投票率向上へ向けての施策は?
答 街頭啓発・LCVのCMや、特に若年層に対しては、関心を持つよう出前講座などを行っている。

問 岡谷市の教職員の残業時間はどうな状況か?
答 令和2年12月の状況では、市は一人当たり小中平均で51時間45分。県平均は45時間13分。依然として県平均より多い。

問 教職員を増員する必要があるのでは?
答 働き方改革を考えれば、増員の必要は同じ様に思っている。しかし、財政面など幾つかの問題を抱えている。

問 高齢者の窓口負担軽減を本気で考える時期に来ている。今時点で軽減は考えていないのか。
(不測の事態により12月議会へ)

岡谷市の教職員の勤務状況

問 岡谷市の教職員の残業時間はどうな状況か?
答 令和2年12月の状況では、市は一人当たり小中平均で51時間45分。県平均は45時間13分。依然として県平均より多い。

問 教職員を増員する必要があるのでは?
答 働き方改革を考えれば、増員の必要は同じ様に思っている。しかし、財政面など幾つかの問題を抱えている。

問▼小中学生の視力(裸眼視力1.0未満)の現状は?
答▼学校40.6% 中学校59.6% 全国平均より若干高い

武井 友則

視力低下防ぐ対策は?

答 教室内の明るさや姿勢に注意を配っている。また保健だよりなどを通じて家庭でのゲームやスマートフォンなどの使い方について周知している。

子育て支援の充実

問 保健師の行う乳児家庭全戸訪問事業の目的は?

答 子育ての孤立化を防ぐため、様々な不安や悩みを聞き子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、適切なサービスに結びつけることで地域の中で健やかに子どもが育つ環境整備を図るために行っている。

問 主任児童委員さんなどによって行われるこんにちは赤ちゃん訪問との違いは?

答 この事業は地域社会全体で子どもと子育て家庭を支える一助となるよう、子育て支援情報の紹介や困ったときの身近な話し相手にな



みんな一人では生きられない地域で支える仕組みがあります

問▼災害に強いまちづくりにむけての施策は？
答▼ハード・ソフト両面から防災・減災に取り組んできた



浜 幸平



問 今井市政14年間で振り返っての思いは？

答 災害から五年後の7月19日を「岡谷市防災の日」に定めた。また、十年後の平成28年には「岡谷市防災減災基本条例」の制定。令和二年には「防災ガイド」を更新するなど、災害に強い安心・安全な街づくりにより、尊い人命が失われたことで市としても大変悲しく、残念であり、重く受け止めております。

問 防災ガイドを中心とした職域・地域・学校における防災訓練に役立っているか？

答 各機関で防災訓練に取り入れていただくことは自助・互助・共助・公助の考え方を基本とした減災意識の醸成につながるから積極的に取り組んでまいりたい。

問 中小危険水流に対する土石流センサー設置・促進については？

答 ワイヤー式土石流センサーが一般的と捉えている。発災直後の応急

的な対応として設置されており、振動検知式等については、鳥獣等による誤作動・危険性の高いポイントに設置することなど設置・運用面で難しさがある。

問 防災担当職員の職務の専門性と継続性についての見識は？

答 専門的な知識を有する消防職員を配置また警察官OBを会計年度任用職員として任用し、有事への対応に備えている。

問 大学との防災面における連携体制について現状は？

答 具体的な連携は実施していないが、本年6月に信州大学との包括的連携に関する協定を締結。この中に防災・減災にも含まれ、今後は連携に向けて協議を行っていききたい。



ワイヤー式土石流センサーの模式図

問▼再生可能エネルギーについて国の方向性は？
答▼水素を新たな資源として社会実装を加速する



今井 義信



問 水素エネルギー活用の可能性

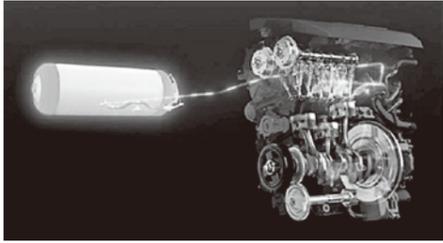
答 国内の資源を活用した水素製造基盤を確立する。国内で行われた24時間耐久レースで、水素エンジン搭載車が完走した。

問 新たな産業に向けた、市内製造業への情報提供への考え方は？

答 国の動向や情報を収集して市内企業へ提供する。

問 市内製造業の水素産業等、新たな市場への参入について、市の考え方と戦略は？

答 水素のみならず脱炭素化に向けた動きも出てきている。時期を逸することなく支援していく。



水素エンジン

産業振興について

問 申請が難しい事業再構築補助金活用の可能性は？

答 予算1兆円規模の大型の補助制度が、国において今年3月から開始され、市としても独自支援を行っていく。

問 事業者に対する支援を、今後どのように進めていくのか？

答 訪問によるニーズ把握など、企業に寄り添った支援に力を入れていく。

問 岡谷シルクの定義について、詳細を知りたい

答 「ものづくりの精神」と「人づくりの精神」に着目して、各種取組を進めていく。

問 製品開発で風呂敷選定は？

答 風呂敷は歴史、習慣を包み、手織りによって、活性化にむけ官民協働で取組を進めていく。

文化財行政について

問 歴史的な資料を確実に後世に残すことへの考え方は？

答 保存方法など調査研究し、後世に残せるよう努める。

問▼道路情報投稿アプリの利用状況は？
答▼多くの市民から道路の損傷状況の情報提供を受けている



吉田 浩



問 アプリの利用状況は？

答 令和2年運用開始から現在までに296件の投稿があり、多くの市民や区長、市職員などから道路の損傷状況の情報提供を受けている。全景写真と状況写真の添付をお願いすることで、道路の損傷状況を事前に把握でき、職員の迅速な現場対応に役立っている。

問 アプリ運用開始からの市民の問い合わせ件数の増減の分析は？

答 令和2年度の市民からの問い合わせは949件でこのうちアプリによるものが195件。全体の2割程度がアプリによる情報提供。

問 アプリの道路分類別件数は？

答 選択分類は舗装、側溝、カーブミラー、道路照明、落下物、落石土砂崩れ、その他の8項目で、最も多い情報は舗装の穴や亀裂、段差など232件。次に側溝の土砂堆積や破損など35件、それ以外は数件ずつの状況。



道路情報投稿アプリ

側溝の溢水対策

問 大雨による側溝等からの溢水対策の現状は？

答 本市の側溝設置道路は250km。今回の大雨で側溝や河川、水路で雨水処理能力を超えてしまったり、土砂等が詰まり溢水した場所が多く発生している。

本市において、これまで溢水個所の改良や河川の浚渫などに計画的に取り組んでいるが、今回のような記録的な大雨では、これまで溢水被害がなかった場所でも被害が発生しており、応急対応として土のうによる浸水対策や側溝の土砂撤去など対応したが、今後、気候変動の影響を反映した治水対策、溢水対策が必要と考える。尚、日常における点検やパトロール、側溝の土砂撤去にも努める。

問▼危険区域在住者も避難警戒レベルの対象に
答▼危険区域在住者は自主的に避難が望ましい



遠藤 真弓



問 8月14日17時20分発令時の防災無線とメール配信@おかのやの文言は？

答 警戒レベル3「高齢者等避難情報」が発令し、略々「高齢者や時間のかかる方は安全な場所へ避難をお願いします。」

問 岡谷市の災害発生への恐れは？

答 土砂災害警戒区域は112か所、県内77市町村中17番目。自然災害の発生しやすい箇所が多く存在。★要望：土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇の恐れがある河川沿いにお住いの方も対象であることがわかるように文言の変更をおこなうべき。

福祉避難所

問 要配慮者、とりわけ避難行動要支援者が福祉避難所に避難するにはどうしたらよいか？

答 いずれも、いったん安全を確保できる区の避難所等に避難して頂き、その後個別に聞き取りし調整し移動となる。

環境にやさしい農産物

問 学校給食へ納入している農家さんは減農薬に取り組んでいる方が多いと聞く。もっとPRを

答 減農薬栽培の推進は生産者の意向や自主性を尊重しながらの取り組みである。子どもたちに対し地域の魅力を知る機会となるよう教育委員会や農家の皆さんと連携しながら取り組んでいく。

洪水・土砂災害の防災情報 風水害

Table with 5 columns: Level, Information, Action, etc. regarding flood and landslide disaster response.

避難行動のための警戒レベル



【議長】小松 壮

一言に「コロナ禍をしのいだ1年」

各委員会の委員からは年々質の高い質問がされている。他委員会の議員も傍聴し、問題を共有していた。



【監査委員】藤森 博文

予算執行の適正と事業課題を検証

市長より付され、監査委員が事前に審査した予算執行と財政状態の適正さを、議会と行政の鋭い質疑・答弁を通して確信しました。



●決算特別委員会 企業会計 【委員長】今井 義信

市の行財政運営の健全化と透明性

活発な質疑と、スムーズな議事進行を行い、コロナ禍の中、実施された事業が、市民生活にどのように生かされたのかに注目した。



●決算特別委員会 一般・特別会計 【委員長】武井 友則

時代の転換点! どう対応した?

営業活動の自粛や臨時休校など、市民生活に大きな変化がありました。これに対して、新しい時代に向けて岡谷市はどのように対応したのかをチェック!

令和2年度 特集 決算審査

決算認定では、歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査したうえで、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認しています。わたくしたちは、ここに着目し審査を行いました。

●決算特別委員会 一般・特別会計●

●決算特別委員会 企業会計●

今井 秀実: コロナと通常診療・病院の努力
市民病院は新型コロナへの対応をしながら通常診療も進めてきた。その努力のようす。課題は何か。今後どう生かして行くか。

早出 すみ子: 水はいのちにつながる
安全、安心な水を提供するのに必要なものは何か。大雨災害時の下水道の対策。減収の中での医療活動。

早一 真: 各種事業選択と財政の健全化
公営企業は市民生活に身近なサービスを提供する役割があり、持続可能な事業運営と財政状況の健全化という部分について着目した。

田村 みどり: 特別修繕引当金を取り崩した理由
上下水道事業では、法令上の大規模修繕の予定はないため、修繕費を建設改良費へ目的を変更し、使い勝手を良くされた点を評価。

中島 秀明: 新型コロナ禍による経営への影響
新型コロナウイルスによる経営への影響について注視。特に、病院経営における短期的な影響と長期にわたる経営への負担に注目。

遠藤 真弓: 危機管理・料金・コロナに着目
水道事業は「危機管理」、下水道事業は「R3年度を念頭に料金見直し」、病院事業は「コロナ禍の病院運営」に着目し審査に臨みます。

山崎 仁: コロナ禍での市民の安全生活
コロナ禍においての水道事業は新設される今井上向配水池構築工事の経過、給水の適切な供給。病院事業では訪問看護利用者減少の要因など。

浜 幸平: コロナ感染症による影響は?
歳入では自主財源確保とコロナ関連の交付金等財源の適正確保、また歳出ではコロナ禍での感染対策に適正執行されたか注目。

大塚 秀樹: ネットワーク整備
児童生徒がICT教育を受ける中で学習に差がなく正しく使い、プログラミングなど考える能力も発達させていく授業が大切と思う。

吉田 浩: 市におけるコロナ禍の影響に着目
開催中止された事業や、滞っている福祉事業の代替の取組や、ICT導入、SNSの活用、インターネット環境整備について着目。

中島 保明: 新型コロナ感染症に苦しんだ1年
コロナ禍が岡谷市の歳入・歳出にどのような影響を及ぼしたのか、その財政によりコロナ禍をどう乗り越えたのかに着目した。

笠原 征三郎: 税金がどの様に使われていたか?
決算認定でいつも着目していることは、税金が公平に使われていたか?特に弱い立場の人たちに目が向けられていたか?

渡辺 太郎: 安全・希望・活力のまちづくりは
市民生活は向上したのか。各種事業の成果、コロナ禍の影響と対策は。時代の早いスピードへの対応と未来への具体的な成長戦略は。

今井 康善: 行事中止による高齢者への影響等
コロナ禍による影響で、いくつもの行事が中止となっている。高齢者等への影響は。またデジタル化推進等による業務の効率化の状況。

Table with 6 columns: 令和2年度決算一覧表, 歳入(円), 歳出(円), 差し引き(円), 結果. Rows include General Accounting, National Health Insurance, Regional Development, etc.

※企業会計収益的収支(消費税込み)

問▼子どもの居場所はどこか

答▼学校関係や地域関係に複数ある



早出すみ子



問 学校関係の活動状況は？

答 放課後子どもの居場所づくりは7小学校区にあり、毎水曜日の放課後に地域住民が先生になり、交流活動をしている。784人の児童の参加があり、地域ぐるみの子育てになっている。

問 地域関係の活動状況は？

答 子ども食堂等の団体は7か所ある。地域住民や高校生がボランティアになり、月に1回食事の場や学びの場や遊びの場を提供している。コロナ禍で弁当や食材の配布をしている。

問 子ども食堂等関係団体連絡会の発足及び実態は？

答 市は3年間「おかやコドモテラス」を実施している。地域に子ども居場所が広がってきた現在、継続した取り組みとなるように子ども課が構成員となり、情報共有の場として設置する。今後は年2回予定する。

問▼岡谷市防災ガイドとハザードマップづくりの重要性

答▼市民の活用が岡谷市の防災・減災力を高める



中島 保明



問 防災ガイドと我が家のハザードマップづくりの重要性について、改めて市の思いをお聞きしたい

答 防災ガイドはこの5月に変更となった避難情報のチラシの全戸配付により、市民の皆様がそれを手にすることにより防災・減災意識を高めていただいていると考えている。自分や大切な人の命を守るためには、自分の住まいの周辺の危険箇所を理解し、日頃からそれを頭に入れて、災害に備えておくことが必要。

問 高齢者等避難、避難指示などの発令地域の指定を区単位ではなく、丁目単位などに絞ることはできないか？

答 局地的な大雨等の際には、丁目あるいは地番指定もあったが、市内全域が大雨になり、各地で土砂災害等の恐れがあり、避難情報を出す必要がある場合は、住民にもわかりやすい区の単位で発令することが妥当だと考えている。今後も気象状況、災害発生等の状況に応じて発令地域の指定を行う。



中大久保沢：厳しい現実を今後の糧としなければならない

問 避難情報の受け止め方と避難行動に関して市側の思いと市民の意識にはズレがあるのではないかと、今回の災害に関する意識調査アンケートの実施をしてはいかがか？

答 住民や自主防災組織の意見等は今後の検証に不可欠であり、必要に応じて実施を考える。

問 防災・減災の観点からも、児童生徒が地元の森林や溪流について学ぶことは大いに意義があると思う。教育の実績とお考えは？

答 本市は平成18年の災害の経験も学習に活用している。災害の恐れのある山や川が身近にあることを子供たちが自身が、或いは親子で考えることは大切。機を見て、我が家のハザードマップの作成にも取り組んでいきたい。

問▼市内商店のキャッシュレス化に向けた取組

答▼ポイント還元で商業の活性化



中島 秀明



問 ポイント還元事業の実績は？

答 ペイペイ(20%還元)とオカヤペイ(30%還元)との抱き合わせで事業を行ったことで市外からもお客を呼び込むことができ、市内で6億3890万円(ポイント還元1億590万円)の経済効果があった。また、オカヤペイの利用者が1400人増加し、ペイペイの決済額が3倍になる等、大変に効果的な事業となった。

問 オカヤペイの普及への支援は？

答 岡谷市・岡谷商工会議所策定の「岡谷市商業活性化計画」のキャッシュレス決済の推進に向けて、キョウシユレス決済消費喚起事業でのポイント還元、行政ポイントの付与等、オカヤペイの普及推進に取り組んできたが、今後も岡谷商工会議所との連携事業でオカヤペイの普及に取り組みしていく予定。

★要望：ポイント還元にはペイペイ単独でなくオカヤペイとの抱き合わせを強く要望。オカヤペイの公共施設での利用、行政ポイントの拡



オカヤトラベルカード

充やボランティアポイント等でオカヤペイの普及促進を要望。

問 保育園における新型コロナウイルス感染症発生時の対応は？

答 感染症防止対策の徹底を優先しているが、発生時には担任保育士が家庭との連絡を密にして子どもの様子や困りごとの相談等、きめ細やかなケアを考えている。また、子どもの世話等で就労できないことでの経済的な影響に対して必要な支援ができるように関係部署と連携した対応の他に、有給休暇取得に際しての助成金制度の活用等、休み易い環境整備に努めていく。

問▼防災気象情報の分析など気象台との連携は？

答▼土砂災害警戒情報等の助言を受けるなど連携している



渡辺 太郎



問 気象庁が推進する地域防災支援に対する取り組みは？

答 8月15日の災害発生後、長野地方気象台のチーフや次長にリモートで2回参加して頂いた。気象防災ワークショップは不参加。気象防災アドバイザーの活用はしていないが研究する。

問 線状降水帯の事前情報把握は？

答 令和7年度までに半日前から危険性を発表できるとしている。

問 国土強靱化地域計画は約82%の市区町村が策定済。岡谷市の進捗状況は？

答 大規模自然災害等のリスクを踏まえ起きてはならない事態を回避し住民の生命を守り、まちづくり政策、産業政策や教育政策等も含めた総合的な計画。各課と検討・調整し本年度中の策定を予定。

問 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の活用は？

答 この対策を踏まえて国土強靱化

問▼岡谷市自殺対策計画

答▼土砂災害警戒情報等の助言を受けるなど連携している



渡辺 太郎



問 岡谷市の現状と対策は？

答 平成21年から令和2年まで自殺者は101名。令和2年は9人が亡くなり、20代が4人で増加している。若年層の自殺対策を総合的に推進していく。

問 相談の窓口は？

答 身近な場所で相談できるような体制を整えている。国では特にSNS相談に力を入れている。国・県と連携し自殺対策を強化する。

問 通学路交通安全プログラム

問 八街市の事故を受けて、合同安全点検と対策は？

答 今回、点検した箇所は当初の20か所と緊急点検分として39箇所。計59箇所の点検を行った。関係機関と連携し安全対策を講じる。



会派紹介

会派 令明おかや

活動方針

～多角的視点からの議論と研鑽を行ない「市民に開かれた議会」を目指し 議会改革に取り組みたい～

- ① 市民との対話・市民目線で活動する
- ② 政策については是々非々であるが保守本流路線で
- ③ 議会改革と議員力向上に努める

★会派の活動を発信しています

こちらをチェック! HP: <https://reimei-okaya.hp.peraichi.com>



会派 おかや未来研究室

岡谷の未来をデザインします!

活動ビジョン

～市民の皆さんと一緒に目指します!～

- ユニバーサルデザインのまちづくり
- プロスポーツを活用した産業振興
- 若者・子育て世代に選ばれるまち
- 子どもが育つ環境の整備と促進
- 地域ブランドの確立
- ひきこもり支援などの福祉施設の充実

★会派の活動を発信しています

こちらをチェック! HP: <http://okalab.info/>



Facebook



会派 日本共産党岡谷市議団

活動方針

～国民の苦難あるところに 日本共産党あり～

これは日本共産党が創立されて以来、歴史に脈々と刻まれてきた日本共産党の立党の精神です。私たち共産党議員団も「市民の苦難軽減」を基本方針として日々活動をしています。



会派 やまびこ

活動方針

～常に市民は何を望んでいるのかを 第一に考え行動に移す～

市民と同じ目線にたち、より良い未来の岡谷を構築する為に学校、高齢者、介護施設などに直接出向き思いや要望、生の声を聞き議会活動に反映させていく。



3常任委員会紹介

政策提言に向けたテーマ決まる

未来の担い手を育む環境整備の充実に向けた政策提言

総務委員会

令和3年5月より、総務委員会も新体制となり、積極的な議論による審査の充実強化と、しっかりとした政策提言を作成するための調査研究を進めてまいります。今、私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症により、生活様式の変化を余儀なくされています。この変化は、未来を担う子どもたちの生活にも大きな影響を及ぼしており、このような不透明で予測困難な今こそ、子どもたちの学びの環境の充実が私たち大人の大きな課題であると考えます。

そこで、私たち総務委員会といたしまして「未来の担い手を育む環境整備の充実に向けた政策提言」と題し、「学びの基礎である小学校と中学校の教育連携とスポーツの振興」について考えていきます。

●委員長: 田村みどり

【副委員長: 武井友則 / 委員: 小松 壮 / 渡辺太郎 / 早出一真 / 笠原征三郎】



こころとからだの健康づくり

社会委員会

社会委員会では、令和元年から「高齢者の運転免許返納」について初の政策提言に向けた研究を重ねて参りました。今年度からメンバーも一新となり、新たな政策提言に向けてのスタートとなります。

各委員の意見をまとめ、現時点でテーマを「こころとからだの健康づくり」と決めました。健康推進・増進に着目し、フレイル予防など健康寿命の延伸や生活習慣の改善、生活習慣病やがんの早期発見啓発などに対する市の取組の現状の把握を目的とした、岡谷市健康推進課との勉強会を開催するなど、現在委員全員でテーマを深めるための「政策提言検討会」にて協議をしております。今後もコロナ禍で先行きが不透明ではありますが市民の皆様のお声をいただきつつ、他自治体の事例を参考にに取りまとめていく所存です。

●委員長: 吉田 浩

【副委員長: 中島保明 / 委員: 浜 幸平 / 今井康善 / 早出すみ子 / 大塚秀樹】



『新たな産業拠点』の利活用による岡谷市の産業活性化

産業建設委員会

前回の政策提言では「生産労働人口減少を見据えた工業の持続的成長」というテーマを掲げ、市内企業のIoT/ICT活用の普及促進と産業を越えた異分野の交流と連携を確実に進めることのできる「新たな産業拠点」の構築を提言しました。工業振興課では、駅前のテクノプラザおかやに誰でも利用できるワーキングスペースを設置するなど、提言と同じ方向に動き始めています。この状況を踏まえ、今回はその続きとして『新たな産業拠点』の利活用による岡谷市の産業活性化をテーマに、工業だけでなく「商業の活性化」「農林業の活性化」「多くの市民がかかわりながら新しいものを生み出す場の実現」などについて提言していきたいと思っています。

●委員長: 今井秀実

【副委員長: 中島秀明 / 委員: 今井義信 / 藤森博文 / 山崎 仁 / 遠藤真弓】



●政策提言の取り組みについて

3常任委員会でテーマを決めて2年間の任期中に、政策提言に向けた調査・研究を行い、議会基本条例に定めた全議員で構成される政策討論会議を経て全議員総意の政策提言を市長へ提出してまいります。

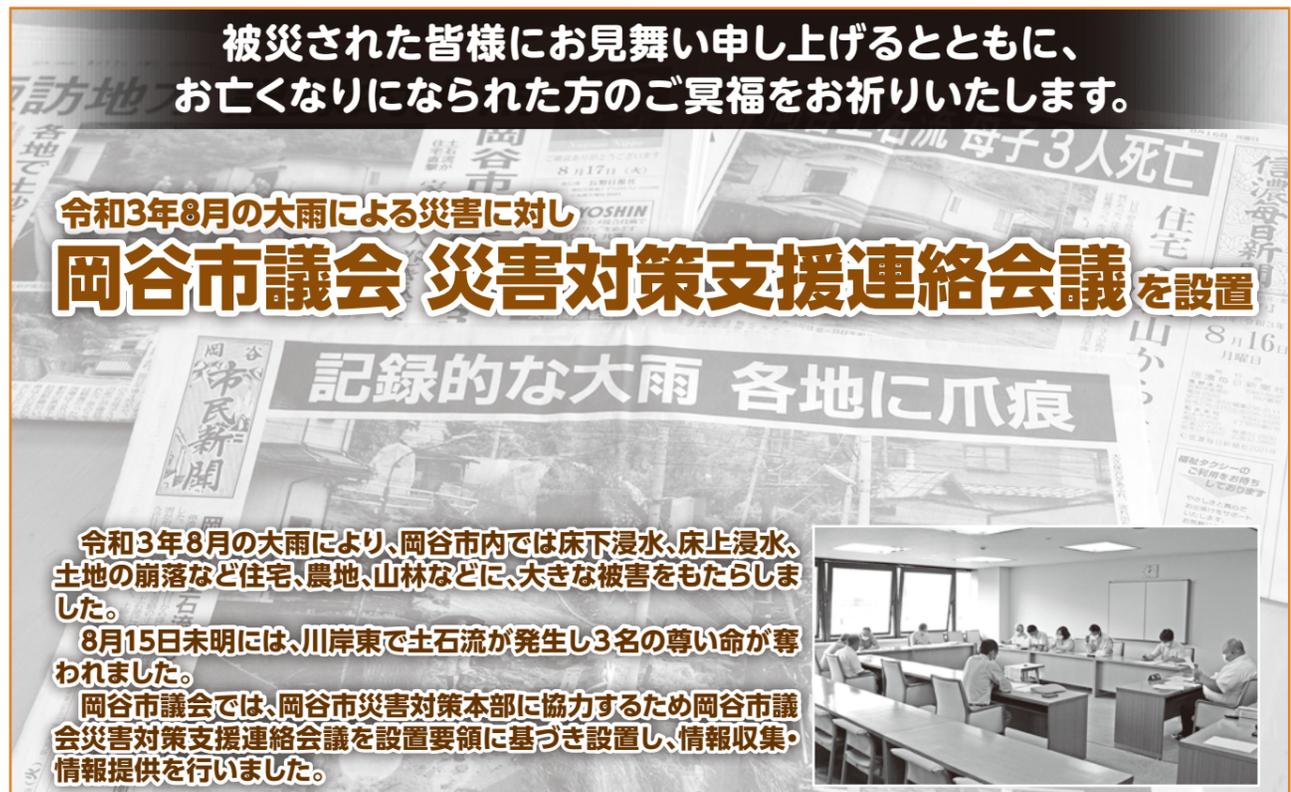
※常任委員会の任期は2年間となっています。

被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたします。

令和3年8月の大雨による災害に対し
岡谷市議会 災害対策支援連絡会議を設置

記録的な大雨 各地に爪痕

令和3年8月の大雨により、岡谷市内では床下浸水、床上浸水、土地の崩落など住宅、農地、山林などに、大きな被害をもたらしました。8月15日未明には、川岸東で土石流が発生し3名の尊い命が奪われました。岡谷市議会では、岡谷市災害対策本部に協力するため岡谷市議会災害対策支援連絡会議を設置要領に基づき設置し、情報収集・情報提供を行いました。



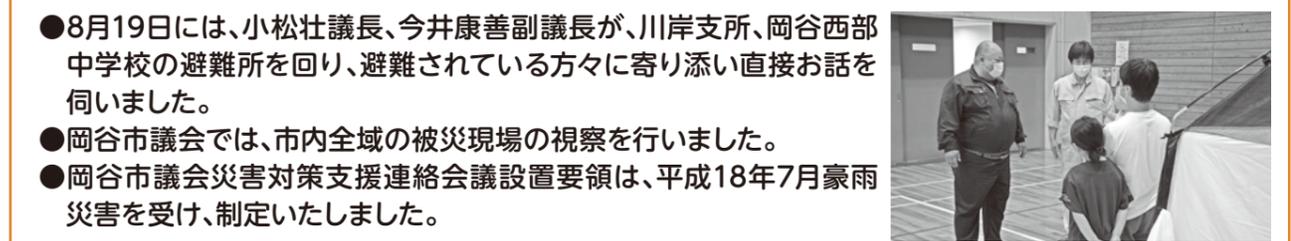
岡谷市議会 災害対策支援連絡会議 設置要領(抜粋)

前略
(設置)
第2 岡谷市議会議長(以下「議長」という。)は、地震等の災害により岡谷市災害対策本部(以下「市対策本部」という。)が設置された場合において、これに協力するため必要と認めるときは、岡谷市議会に連絡会議を設置することができる。
(連絡会議)
第3 連絡会議は、議長、副議長、会議役員及び議員をもって構成する。
2 議長は、連絡会議の業務を総括し、議員を指揮監督する。
3 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。
4 会議役員は議長運営委員長、常任委員長及び会派代表者をもって充て、議長及び副議長を補佐するとともに、連絡会議に係る業務に従事する。
5 第2項から前項までに規定する以外の議員は、連絡会議に係る業務に従事する。
(所掌事務)
第4 連絡会議は、次に掲げる事項を行う。
(1) 議員の安否及び連絡先の確認を行うこと。 (4) 被災地及び避難場所等の調査に関すること。
(2) 議員及び市対策本部からの情報収集に関すること。 (5) 国、県、関係団体等への要望に関すること。
(3) 議員及び市対策本部への情報提供に関すること。 (6) その他議長が必要と認める事項に関すること。 以下省略

●8月19日には、小松壮議長、今井康善副議長が、川岸支所、岡谷西部中学校の避難所を回り、避難されている方々に寄り添い直接お話を伺いました。

●岡谷市議会では、市内全域の被災現場の視察を行いました。

●岡谷市議会災害対策支援連絡会議設置要領は、平成18年7月豪雨災害を受け、制定いたしました。



募集 「市民(みんな)とあゆむ」をテーマに、多世代がそれぞれの立場で、活躍する団体等を紹介する「おかやの市民力発見」を掲載してまいります。掲載希望の方は電話かメールで、議会事務局まで。

電話 0266-23-4811(内線1712)
メール gikai@city.okaya.lg.jp

※掲載については、ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

岡谷市議会は、議員が直接現場を取材することで、岡谷市議会基本条例に基づく議会能力を発揮し、市民福祉の向上及び市政の発展に寄与します。

■編集後記
議会定例会の中でも会期の長い決算議会も終わり、無事に議会のひらば25号の発行までたどり着きました。今回の議会だよりは私達の任期になってからちょうど10回目の発行となります。以前の号を見てみると、今では普通になっているマスク姿の写真は少なく、懐かしさを感じてしまっています。外へ出ていって気軽に話できる機会も少なくなっており、さすが議会だよりは市民の皆様により身近に感じていただけるよう、リニューアルがされております。表紙と裏のページは「おかやの市民力発見」とし、皆様の活動を紹介するページとなっておりますので、もしどしどし応募いただければと思います。

また、毎回慣れない作業に苦勞しながらも、議会の活動がわかりやすく伝わるよう編集してまいりますので内容についてもご意見をお寄せください。(武井友則)

令和3年 第4回定例会 (一般議案)

決算認定以外の議案の主な審査経過をお知らせします。

◆議案第70号
令和3年度 岡谷市一般会計補正予算(第13号)

本会議での提案説明(議案の内容)
Web会議環境拡充事業、オンライン子育て相談事業、がんばれ岡谷秋の消費喚起事業、中小企業事業再構築促進事業奨励金を計上するもので総額8420万円の追加をするものである。

※本会議の質疑の後、総務・社会・産業建設委員会に審査付託されました。

◆産業建設委員会での主な質疑及び市側の答弁並びに審査結果
問 オカヤペイのキャッシュレス決済消費喚起事業と同様の対応は?
答 これまでのオカヤペイポイント還元事業において、かなりのオカヤペイポイントが溜まってきている状況であったことから、岡谷商工会議所と十分に協議をする中で、岡谷商工会議所の考えも踏まえ、今回はオカヤペイポイントを利用した消費喚起策を実施することにした。

◆討論(賛成意見)
がんばれ岡谷 秋の消費喚起事業は、スマホが必須になることもあり、岡谷市民が等しく恩恵を受けられるものでなく、オカヤペイの加盟店数も90店舗では、すべての商店がこの事業の恩恵を受けられるものでもない。また、決済手数料が発生することから売り上げが小さい中小店舗にはメリットが小さく、大手キャッシュレスサービスのみのみでは効果が限定的となりため本議案には反対する。

◆討論(反対意見)
消費喚起事業は、戦略的かつ継続的に回数を重ねることに効果が高まっていくものであり、今回の事業の立て付けでは賛成することはできない。

◆討論(賛成多数により可決されました。)

○令和3年 第4回定例会(全会一致により可決等された議案等)

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第53号	令和2年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第64号	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
議案第54号	令和2年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第65号	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例
議案第55号	令和2年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第66号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案第56号	令和2年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第67号	市道路線の認定について
議案第58号	令和2年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	議案第68号	令和3年度岡谷市一般会計補正予算(第12号)
議案第59号	令和2年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	議案第69号	令和3年度岡谷市病院事業会計補正予算(第2号)
議案第60号	令和2年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	議案第71号	令和3年度岡谷市一般会計補正予算(第14号)
議案第61号	令和2年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	議案第72号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書
議案第62号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第73号	災害からの復旧・復興と地域防災対策の推進を求める意見書
議案第63号	岡谷市役所出張所設置条例の一部を改正する条例	議案第74号	災害からの復旧・復興と地域防災対策の推進を求める意見書

○令和3年 第3回定例会(賛否が分かれた議案等)

議案番号	件名	小松壮	田村みどり	浜幸平	吉田浩	中島秀明	今井康善	今井義信	中島保明	早出すみ子	今井秀実	武井友則	波辺太郎	早出一真	藤森博文	笠原征三郎	大塚秀樹	山崎仁	遠藤真弓	
議案第51号	令和2年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和2年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和2年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和3年度岡谷市一般会計補正予算(第13号)	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長:議長職のため採決に加わらない ○:賛成 ×:反対 趣:趣旨採決

○陳情審査結果

陳情No	件名	付託委員会	審査結果
陳情57号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良事業に対する要望書	産業建設委員会	採 択
陳情58号	岡谷市内危険箇所改修についての要望書	産業建設委員会	趣旨採択